

(2) その他の評価

オレンジゆずるバスの満足度

項目	満足度	評価
運行全体	52.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼ過半数の市民が普通、やや満足、満足となっている。 ・ 今後の対応としては、ルートと便数についての見直しが重要であると考えられる。
運賃	53.0%	
ルート	42.7%	
便数	39.7%	
情報提供	62.1%	

市民アンケート結果より

オレンジゆずるバスの必要性

項目	割合	評価
必要	56.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・ オレンジゆずるバスの必要性について、市民全体が高い認識を持っていると考えられる。
必要ではない	7.8%	

市民アンケート結果より

市民の生活の変化

項目	割合	評価
積極的に外出するようになった	20.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス利用者のおよそ2～3割が外出機会の増加と買物や公共施設利用の利便性が高まり、生活の質が向上したといえる。 ・ 利用者の消費活動が、新たに教養や娯楽、買い物に出るようになった利用者の消費活動の増加だと考えれば、オレンジゆずるバスによる市内の経済効果として評価できる。
市内の商店に買い物に行きやすくなった	27.5%	
市内の公共施設に行きやすくなった	21.8%	
自家用車を運転する回数が減った	9.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス利用者のおよそ2割が自家用車からオレンジゆずるバスへの転換が図れたといえる。 ・ 自家用車からオレンジゆずるバスへの転換することで、CO₂排出量の削減効果として評価できる。
自家用車で送迎してもらう回数が減った	10.7%	

バス利用者アンケート結果より